

タウンミーティングで出された意見等に係る 前期基本計画への反映状況

旧市内・大津地区(実施日:平成29年9月20)

対応状況・反映状況の凡例
 ◎…すでに前期基本計画に盛り込まれているもの
 ○…前期基本計画に反映したもの
 ×…前期基本計画には反映しないもの
 ……質問等により、特に前期基本計画に反映する必要がないもの

※色が塗られたものは、当日挙手制による意見交換を行ったものです。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考(前期基本計画内反映箇所など)
1	総花的で具体的にどうつなげるかがわかりにくい。PDCAサイクルをどうまわしていくのか。また、全体的にはやりたいことが多すぎて実施が大変だと思う。もっと年度計画に的を絞っていくほうがわかりやすい。	説明が総花的であったことにつきまして申し訳ありません。 なお、具体的な計画(年度計画)については、総合計画の3層目にあたる来年9月策定予定の実施計画で明らかにしていきます。	—	
2	市長が冒頭で言われた「稼ぐ力」を蓄えることが重要課題と思われる。①世界に誇れる技術を持った中小企業を育てることだが、具体的方策について教えていただきたい。②ICTコンソーシアムの運営とは何をやろうとしているのか教えていただきたい。③新東名島田金谷IC周辺整備事業のうち、産業活性化ゾーンとして企業誘致、6次産業化とあるが、具体的にどのように進めるのか教えていただきたい。いずれにせよ、稼ぐ力を蓄えることの実現性がないと絵に描いたモチである。	①平成28年度に島田市産業支援センター「おびサポ」を開設し、販路拡大についての相談や、設備投資への補助金などにより中小企業の経営支援を行い、中小企業の稼ぐ力を蓄え、経済に好循環を生み、労働条件の向上にも反映していくよう、取組を進めています。 ②教育・産業分野へのICT(情報通信機器・技術)の導入、活用を推進し、官と民が連携した組織により、将来の島田市を担う人材の育成及び産業の活性化を図っていくものです。 ③産業活性化ゾーンには工業団地を整備していく予定であり、当地のメリットを活かした企業誘致を進めています。また、大井川の水を活かし、一次産業品の生産者や食品加工業者等と連携する新産業として、6次産業化施設等の整備・誘致を進めます。	◎	施策の柱3-2-1 ・地域産業を支える中小企業の経営基盤を強化するため、設備投資への補助などの支援を行います。 施策の柱3-1-3 ・人手不足や生産性の伸び悩みを補うICTの導入を促進し、IoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)といった先端技術の研究や実証実験を行い、市内産業の活性化を推進していきます。 施策の柱3-2-2 ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。
3	「稼ぐ力」の表現が良くない。また、「笑顔あふれる安心のまち」は他に表現がなかったのか。	例えば、内閣府が主体となって進める「地方創生」は、「地域の稼ぐ力」「稼げるまちづくり」といったフレーズを取組の柱に位置づけているところです。したがって、国の方向性に準じ市として同じ表現を用いているところです。 また、次期総合計画の目指すまちづくりの将来像である「笑顔あふれる安心のまち」については、住民アンケート等の意見をもとに、市民の代表との協議のうえ、案として出させていただいているものであります。	—	
4	大井川の決壊は想定内であるのか。	国交省が昨年5月に、想定最大規模の雨量により大井川が浸水した場合の洪水浸水想定区域図を策定しました。 これは、過去の統計データから1000年に一度の確率で起こる可能性がある最大降雨量「48時間で787ミリ」としており、これは、島田市の市街地が広く浸水する状況となります。	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
5	病院建設の費用が市と病院で折半とは、市と病院は別組織ということなのか。では、市の職員が病院にいるのは市から出向しているとのことなのか。また、その立場は。	病院建設の費用を市と病院が折半することは、財政運営上定められたことで、それに基づいて国からの財政措置が受けられることとなっています。 病院の事務職は、病院採用の職員と市長の事務局からの出向者が混在しています。出向者の立場は病院事業管理者の指揮命令系統のもとにあり、出向者の役職は部長級から採用後間もない職員まで様々です。	—	
6	市民病院新築時、学者等の研究棟はつくりますか。	設置する予定はありません。	×	
7	市民会館の建設は考えているのか。	島田市役所本庁舎をはじめ、市民会館跡地、プラザおおるり、中央小公園、職員駐車場など、約34,000㎡の整備の検討を進めるなかで、文化機能を合わせ持った複合施設整備について、民間資金を活用した整備可能性を調査しているところであります。	◎	施策の柱7-4-2 ・老朽化が進む市役所本庁舎、解体した旧島田市民会館及び大規模改修等の検討時期を迎える市民総合施設プラザおおるりについて、庁舎機能の更新を前提に当市の中心地にふさわしい施設のあり方を一体的に検討します。
8	「ICT教育」とさらっと言われたが、みんなわかるのでしょうか。	ICTとは情報・通信に関する技術の総称で、ICT教育とは、タブレット端末を教育分野で活用していくことなどが事例として挙げられます。 分かりづらい言葉でありますので、計画書には注釈をつけていきます。	—	
9	人材育成として教育（これからを見据えた）のあり方、学校教育、社会教育の改革となる事業（島田らしい、島田で子供を育てたいとなるような）も見えてこないが、必要ではないのか。	地域の文化・人材を活用し、地域ぐるみで子どもたちを育て、子どもたちの夢を膨らませることができるよう島田独自の教育活動「夢育・地育事業」を実施し、島田の未来を担う子どもたちの夢を育む事業を展開しています。	◎	施策の柱2-2-2 ・子供一人ひとりの「豊かな心」「確かな学力」「健康な体」を育むため、子供の夢を膨らませる活動や、地域資源を生かした教育を行います。
10	人口減少に歯止めをかける企業進出は現段階であるのか。またその予定地は。	現在、新東名島田金谷IC周辺地区内で工業用地造成に向けたアクセス道路や水路等の基盤整備を進めています。 また、当地区内への企業誘致も進めており、利点である交通アクセスの良さや地下水利用をPRしています。 その結果、市内外の企業からお問い合わせをいただいておりますが、具体的な誘致先決定にはもう少しお時間をいただきたいと思っております。	—	
11	おび通りの活性化事業は具体的に何をするのか。	おび通りにおいてイベントや市民・団体の発表の機会を増やすことにより、中心市街地への誘客を図り、賑わいを創出する事業です。	◎	施策の柱3-3-1 ・官民連携のもと、おび通りや駅前緑地を活用した多彩なイベントを開催することで、中心市街地ににぎわいを創出し、経済の波及効果を図ります。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
12	本通り商店街は後継者もなく、商店がなくなりつつあります。空き店舗活用以外の政策がありましたら教えてください。そして今後続けていく商店への支援等がありましたら教えてください。	<p>中心市街地への誘客を図るため、おび通りが多くの方が集う場として活用されるよう取り組んでいます。</p> <p>また、今年度末には、ぴ〜ファイブ1階に「屋内音楽広場」というコンセプトのもと、音楽施設をオープンする予定です。</p> <p>このような取組を通じて中心市街地の活性化を図ることに加えて、島田市商店街連合会や各個店の活動を支援をしていきたいと考えています。</p>	◎	<p>施策の柱3-3-1</p> <p>・中心市街地活性化基本計画に基づく施策を、商店街や地域住民、関係団体、市内企業等と連携して実施するとともに、おび通りなどを活用したさまざまな主体が開催するイベント等により、中心市街地のにぎわいを創出します。</p>
13	経済発展について、茶産業を中心にすえているが、茶価額の低迷にある昨今、期待が持てる施策が想定されているのか。	<p>シティプロモーションや他産業と連携した、お茶の販売促進活動を国内外で展開していきます。賑わい交流拠点では、市内の優良農林産品を製造・加工販売することで知名度を高めていきます。</p> <p>現在、海外では抹茶の需要が高まっています。</p> <p>また、中山間地域において有機てん茶製造への転換を図るなど、地域の特性を活かした取組を支援することで、農業所得の向上を目指します。</p>	◎	<p>施策の柱3-4-1</p> <p>・農林生産物を効率的に栽培・収穫・加工できる施設整備や、中山間地域の特色を活かした農業を進め、所得の向上を図ります。</p> <p>施策の柱3-4-3</p> <p>・市内の優良農林産品を賑わい交流拠点で製造・販売加工販売し、知名度を高めていきます。</p> <p>・シティプロモーションや他産業と連携して、お茶の販売促進活動を国内外に展開していきます。</p>
14	特種東海製紙横井工場跡地はどうなるのか。横井工場跡地に新たな企業誘致の可能性は。	<p>特種東海製紙横井工場閉鎖後の跡地利用については、平成24年秋ごろから相談を受けており、その後も不定期ですが、継続的に情報交換をしています。</p> <p>利用方法については、民間の土地であるため企業の意向が第一と考えていますが、地域活性化につながる土地利用を期待しているところです。企業側でも様々な視点で利用方法が検討されていますが、現時点では具体的に示されていません。</p> <p>今後、工場の解体工事ははじまりますが、市としてもまちづくりを進めるうえで重要な場所であると認識しており、公共性の高い土地利用が図られる場合については、市の支援を検討する必要があると考えています。</p>	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
15	人口減少対策を進めるうえで、有効な企業誘致について具体的な方法を島田市のメリット等を含め教えてください。	<p>企業誘致における本市のセールスポイントは、地盤が強固であること、良質な地下水が豊富にあること、陸・海・空が近接する広域交通結節点に位置する地であることです。</p> <p>特に、地下水が利用できる地域は静岡県内でも限定されるため、これらの強みを活かした産業の集積を目指し、既存企業との情報交換を重ねるほか、市外企業へアピールしていきます。</p>	◎	<p>施策の柱3-2（冒頭部） 恵まれた交通アクセスと地域資源を活かす物流拠点や生産拠点を新東名島田金谷IC周辺に形成し、生み出される経済効果を市内全域へと波及させます。</p> <p>施策の柱3-2-2 ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。 ・「内陸フロンティア推進区域」において、交通アクセスの優位性を活かした新たな工業用地と周辺基盤整備を進めます。</p>
16	周辺都市と比較して、市街地の活力低下がみられ、市街地周辺住民の減少が危惧される。具体的な対策は考えているのか。	<p>人口減少社会が到来し、まちのコンパクト化や商業の集積が求められています。おび通りや駅前緑地を利用した多彩なイベントの開催や、最活用を目指した空き店舗対策、商店街のにぎわい創出事業への支援など、中心市街地のにぎわいを創出していきます。</p>	◎	<p>施策の柱3-3-1 ・官民連携のもと、おび通りや駅前緑地を活用した多彩なイベントを開催することで、中心市街地のにぎわいを創出し、経済の波及効果を図ります。 ・空き店舗対策として、再活用を目指したりノベーションを支援するなど、中心市街地の資産価値を高める取組を進めていきます。</p> <p>施策の柱3-3-2 ・商業者団体などが実施する商店街のにぎわい創出事業を支援します。</p>
17	企業誘致の地域はどこですか。医療関係とか分野を絞って誘致するのか、どの分野の企業かを問わず誘致するのか、どちらですか。	<p>現在、市では新東名島田金谷IC周辺地区に工業用地整備を計画しており、企業立地に向けた誘致を行っています。当地の利点として、強固な地盤であること、質の良い地下水が豊富であること、さらに、陸・海・空が近接する広域交通結節点の地であることが大きな魅力であり、地下水を利用する製造業や物流業などの誘致を目指しています。</p>	◎	<p>施策の柱3-2（冒頭部） 恵まれた交通アクセスと地域資源を活かす物流拠点や生産拠点を新東名島田金谷IC周辺に形成し、生み出される経済効果を市内全域へと波及させます。</p>
18	土日の商店街が休みのため、交代で開店していただくことは可能か。	御提案の内容については、商店街関係者にお伝えいたします。	—	
19	島田（東海道）の持つ歴史的価値を利用する予定はあるのか。言葉では記されているが、いろいろな方面から耳に入ってくる声では、史跡保存等への気配りがないようである。	<p>東海道沿いにある川越遺跡、諏訪原城跡の保存整備を進めています。</p> <p>また、宗長庵址や刀匠顕彰碑等により、島田の歴史を後世へと伝えていくよう史跡保存に努めています。</p>	◎	<p>施策の柱5-1（冒頭部） 当市の財産である文化財をしっかりと保全・継承していきます。さらに、大井川川越遺跡、諏訪原城跡、蓬莱橋といった由緒ある文化財を活用して、国内外の人々に島田市の歴史をPRしていきます。</p>

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
20	移住者の促進には、空き家の活用をするのですか。市内の空き家状況を把握できているのですか。民間（不動産業）などと連携して対策を進められるのですか。	現在、川根地区を対象とする空き家バンク事業を実施しています。また、県外からの移住者に対する住宅取得補助、市内の中古住宅を流通させるため、中古住宅購入補助制度も実施しています。 併せて、民間（不動産業）にも協力いただき不動産バンクの運営をしていきます。	◎	施策の柱5-3-1 ・空き家バンク事業や空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策を展開していきます。
21	川越遺跡の整備基本計画が決まっているのであれば教えてほしい。川越街道に対する方向性を教えて欲しい。また、街道において、商業的活動ができる場所（蕎麦屋のところ）を市などの課が管理していて、どのような管理をしているのか教えて欲しい。	川越街道の整備基本計画については、平成29・30年度の2年間で策定する計画となっており、地区の住民の意見を反映させるとともに学識経験者にも入っていただき全体の計画を仕上げる予定です。 現段階では、正式に具体的な計画はできあがっていません。 これまでは、文化財の保存に力を入れてきましたが、文化庁においては、文化財保護法の改正により、保存から活用や地域振興へ結びつける流れがあることから、同じ方向性で進めているところです。 なお、川越街道観光施設（飲食施設、観光案内及び物販施設）は、観光課で管理しており、行政財産の使用料徴収により施設の営業をしていただいています。	◎	施策の柱5-1-1 ・大井川川越遺跡は、歴史的景観のほか学術的な価値を踏まえた保存管理を進めながら整備活用につなげていきます。
22	島田駅南地区まちづくり幹線道路整備事業とは何か。	島田駅南口から河川敷までの一部道路整備を実施するものです。整備により、避難路としての防災面の強化や、大型車両の通行の安全性の向上を図ります。さらに、島田市街地の活性化につなげていく目的もございます。	◎	施策の柱6-2-1 ・策定された道路整備プログラムにより、優先度に応じた幹線道路整備を推進します。
23	横井中央線電線共同溝整備事業とは何か。	中心市街地を南北に縦貫し、広域避難地である大井川緑地に繋がる幹線避難路である横井中央線の電線類の地中化により、災害時の安全な避難路の確保を目的とした事業です。	—	
24	電線共同溝整備を考えている道路を知りたい。	緊急避難路に位置づけている大津通り交差点から大井川緑地に至る横井中央線を電線共同溝整備の対象として、整備を薦めてきました。 第2次島田市総合計画期間では、南幼稚園交差点以南の整備を予定しています。	—	
25	向島町公園整備事業とは何か。	「緑の基本計画」に位置付けられた、公園整備事業です。市民の憩いの場や地域交流が生まれる環境づくり、また、災害時に避難地として機能する公園を目指すものです。	—	
26	中心市街地づくりへの取組について、駅周辺、島田駅南口周辺の土地にマンション等の開発予定はありますか。	民間の開発ですので、現段階では把握していません。	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
27	静岡空港開港後の周辺地域に変化が見られない。空港を活用した地域発展の施策が考えられているのか。	<p>タウンミーティングにて説明しましたとおり、旧金谷中学校跡地の空港周辺プロジェクトを中心に、県と共に調整を進め、現在民間活力による施設整備を目指しています。</p> <p>合わせて、県が運営する「ふじのくに茶の都ミュージアム」との連携により、にぎわいの相乗効果が得られることを期待しています。</p>	◎	<p>施策の柱6-3-3 ・（冒頭部）にぎわいと交流人口の拡大を目的に、県が運営するふじのくに茶の都ミュージアムや、民間事業者を整備主体とする旧金谷中学校跡地周辺の利活用を県と連携して進めます。</p>
28	<p>まちづくりの方向性は大胆に考えること。行政機関の移転ができないか。例えば、島田市役所、市民会館を大津地区等への移転。移転することで①移転先に商店街が生まれ、居住地区の住居建設活性化が図られ人口対策に資する。②市役所、旧市民会館、SL公園、駐車場などの敷地を利用した、島田市の人の集まるにぎわいづくりを創出する。③観光客を呼び込む施設の建設について、今ある観光施設を街の中心に集中配置。④若い人が積極的に集まる島田市中心市街地づくりを行い、旧商店街の活性化を目指す。（行政機関が移転した市：掛川市、湖西市 郊外が発展した市：菊川市、焼津市、富士市、引佐町）</p>	<p>御提案があった行政機関の移転は計画していません。</p> <p>なお、市役所周辺については、市役所本庁舎をはじめ、市民会館跡地、プラザおおるり、中央小公園、職員駐車場の計約34,000㎡の整備を検討していきます。</p> <p>市役所周辺の「文化創造の拠点施設機能」、「本庁舎機能」、「中央公民館（集会）機能」の3機能を含め、「島田市民会館機能再生等に係る民間資金等活用基本調査」を実施し、整備内容の検討を進めているところです。</p> <p>調査結果をもとに、整備基本構想や整備基本計画を策定し、事業手法の検討スケジュールを策定していきます。</p>	×	
29	すばらしい基本方向に基づいて進めてください。	御意見ありがとうございます。掲げました将来像の実現に向けて取り組んでいきます。	—	
30	<p>みんなの協力でまちをつくるとうたっている以上、もっと市民がまちづくりに参画する機会をつくるべき。単にオープンにするのではなく、マイレージや減免など、インセンティブとともに、市民による取組を加速させることで行政負担を減らすべきでは。また、施策はたくさんだが、「稼ぐ土地」や「稼ぐ施設」の仕組みが見えてこない。より経営的に収益をあげられる施策展開が必要で、それを取組ごとの重点課題にしないと、計画をつくって終わりになってしまう。</p>	<p>御指摘にある「稼ぐ土地」「稼ぐ施設」の核に位置付けるのが、当市の2大リーディングプロジェクトである、新東名島田金谷IC周辺に整備する「賑わい交流拠点」、空港周辺プロジェクトとして旧金谷中学校跡地に整備するにぎわいを集める施設です。</p> <p>賑わい交流拠点には、マルシェを整備し、地元の農林水産物を加工販売するほか、農業体験プログラム等を準備し、農業の6次産業化ができる場所を目指し、年間140万人の集客を見込んでいます。</p> <p>旧金谷中学校跡地については、民間活力を導入によるにぎわいを創出する拠点整備を予定しており、現在、提案事業者の選定作業を進めています。</p> <p>これらの拠点は、単独ではなく連携を図ることで、人の流れを生み出し、相乗効果が高まるものと考えています。</p>	—	<p>左記に記載した「賑わい交流拠点」「空港周辺プロジェクト」について、施策の柱6-3「便利で魅力あるまちの拠点をつくる（都市計画）」の中で示しています。</p>
31	現実と計画のギャップを感じる。	<p>第2次総合計画及び、国土利用計画島田市計画を策定し、遂行していく中においての行政の仕事は、理想（計画）と現実の狭間で、いかに理想（計画）に近い形にもっていけるかが重要だと考えています。</p>	—	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
32	市長は常日頃から“財源の裏づけのない提案は提案ではない”と言っていますが、そのとおりだと思います。財源確保には、税収入、コストダウンが必要ですが、島田市はコストダウンの力が弱いと感じます。特にコストダウンの中で過剰サービスとなっている事業の削減や、カットの力が極めて弱く、高コストの事業の中で、市民に協力を求めることでコストダウンできる事業がいっぱいあると思います。思い切ってこれを削り、これからの必要事業に思い切って投資すべきであると考えます。行政サービスを削減、カットするということは抵抗も多いです。しかしタブーや聖域はありません。職員も行政サービスを落とすことに臆病になっており、意識改革すべきです。ぜひ、市民を企画段階から参画させて検討実施していくように願っています。	「島田市行政経営戦略」（平成27年度～平成29年度）にもとづき、効率的・効果的な行政運営の推進、財政の健全化、市民との協働体制の構築に取り組んでいるところです。	◎	施策の柱7-2-1（冒頭部） 多様化する市民ニーズ及び行政課題に、適切、迅速に対応しつつ、市民の視点に立ち、限られた経営資源の中で効率的かつ効果的な行政経営に努めます。
33	内容が盛りだくさんであり、本当に実施できるのか。優先順位をつけるべき。また、目をつぶってカットするなどの選択も必要では。何でも自治会に押し付けるのではと心配している。	毎年度、実施計画を見直し、個々の施策の実行性を確保する予算編成の具体的な指針とするとともに、成果指標「めざそう値」に基づき進捗管理を実施していきます。 各取組については、地域の皆様との「協働」のもと、地区のまちづくりを進めていきたいと考えており、自治会に押し付けることはしません。	—	
34	施策からのアクションプランにつなげて、いつ、誰が、何を、どうするか定量的に表現すること。また責任者の明示をしてホームページに載せること。	具体的な事業計画（年度計画）について、総合計画の3層目にあたる来年9月策定予定の実施計画で示していきます。なお、実施計画はホームページ上で所管課を明記し公表しています。	—	
35	島田市の問題点がどこにあるのかがはっきりしないため、具体的なイメージが湧かない。また言葉がバラ色すぎる。全体に魅力のあるコンセプトがない。	全体のコンセプトとしては、当市が目指すべき将来像とした「笑顔あふれる 安心のまち 島田」の実現です。	—	
36	タウンミーティングの資料を町内に回覧したいため、資料が欲しい。	市のホームページに掲載するほか、当回答書と併せて資料を各自治会に配布する予定です。	—	
37	新市民病院建設に伴い、アクセス道路を確保し、周辺地域の整備を考えていただきたい。（道路、公園、関連施設等）この整備は、市内の重点地域であり、早急な計画が必要である。	新市民病院建設に合わせ、周辺道路の拡幅や交差点の改良などを実施する計画であります。これにより県道の混雑を緩和し、病院へのアクセスを向上させる考えです。 また、周辺地区の排水対策等も計画し、地域生活における安全・安心の向上にも努めていきます。	◎	施策の柱1-2-3 ・新病院の建設計画に合わせ、周辺において必要となる道路、水路などの基盤整備を計画的に実施します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
38	明るいまちづくりは、居場所づくりが必要であり、幅広い対応、促進をお願いしたい。	当市では、居場所づくり事業として、外出の機会が少ない閉じこもりがちな高齢者が身近な公会堂等に気軽に集まり交流できる場の整備（備品購入等）に対して補助金を交付し、仲間づくり、互いに見守り合う体制づくりを支援しており、今後も継続していきます。	◎	施策の柱1-3-2 ・外出機会が少ない閉じこもりがちな高齢者が、気軽に集まり交流できる居場所の整備を推進し、仲間づくりや互いに見守り合う体制づくりを支援します。
39	旧市街地は高齢化が著しく進行している、包括ケアの早期有効化に力を入れてほしい。	団塊の世代が75歳となる2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。市は、日常生活圏域毎にコーディネーターを設置するとともに協議体（生活支援をつなぐ会）を開催し、地域の課題の抽出、インフォーマルサービスを含めた資源の把握、課題解決等に取り組んでいます。また、現在、地域住民や既存の地縁団体との連携・協働により、各地域に「居場所」や「しまトレ」の創出を進めています。	◎	施策の柱1-3-2 ・地域のニーズに合った住民主体による互助のサービスや、高齢者の社会参加、地域支え合い体制整備を推進します。生活支援コーディネーターを日常生活圏ごとに配置するとともに、協議会を開催し、地域の資源や課題の共有を図り、サービスの担い手の発掘を行います。
40	元島田地区、第四小学校改築に伴い、10年100年先を見据えた防災計画（避難所としての機能の確認）、放課後児童クラブの人員増に伴う計画をお願いしたい。（モデル事業としてやっていただきたい）	各地域の個別の防災計画策定については、危機管理課担当が説明に伺い、地域に入り込んで一緒になって進めることとしています。是非御連絡いただければと思います。放課後児童クラブの人員増につきましては、児童数の状況（減少傾向）や地域の状況、国の政策等をみながら適切に定めているところです。なお、子育て施策に関して、現在四小地区において、モデル事業として「子どもの居場所づくり事業」を実施しています。	◎	施策の柱1-1-2 ・自主防災組織による地区防災マップづくりや各家庭までの連絡網づくり、避難行動要支援者の避難支援個別計画の作成支援を継続します。また、地区ごとの防災訓練の実施や地区の災害対応計画の作成支援を強化します。施策の柱2-1-4 ・放課後の適切な遊び場と生活の場を提供し、子どもの自主性、社会性を養う放課後児童クラブの受け入れ体制を整備し、働く保護者の支援に繋がります。
41	幼児教育の無料化を考えてください。	本年9月分保育料から、条件をはずした保育料の第2子半額、第3子以降の無償化を実施しています。当面は平成33年度までを実施期間とし、効果を検証することで、継続の是非を判断する予定です。	◎	施策の柱2-1-4 ・子育て世代の負担の軽減を図るほか、合計特殊出生率の上昇や定住の促進、さらに転入の増加を図るため、保育料の第2子半額、第3子以降の無償化を実施し、その評価を行います。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
42	人口減少対策として「日本語学校」の開設を提案する。少子高齢化が続く中、もはや外国人労働者を受け入れなければ日本は成り立たない。市内の求人率は1.2（？）ほどあるが、新入社員（若者）の応募は少ないと聞いている。外国に目を向ければ、ベトナム、フィリピン、ミャンマーの若者は日本で働くことを熱望している。島田市に外国人留学生の日本語学校を開設し、日本語を覚え、日本（市内）で働く道を広げていくことが近道ではないでしょうか。「日本語学校」は市内の企業が出資すれば容易に開校できると思うがどうだろうか。	人口減少が進む中で、労働力確保の視点から外国人がその担い手となっており、主要都市部においてはその傾向が顕著であることを認識しています。 当市でも、若い優秀な外国人を受け入れ、育成している企業があることは把握しています。 御提案について、学校誘致となれば当市の財政的な関与（土地の提供、補助金）等もありますので、事例等を見ながら可能性について、調査・研究していきたいと考えています。	×	
43	五丁目の駐車場下（ぴーファイブ）を市民の憩いの場として使用できるようにしたらどうか。（踊りやカラオケなど）	ぴーファイブについては、「屋内音楽広場」というコンセプトのもと、3つのスタジオを用意した音楽施設を整備する予定です。	—	
44	今、町内では、有志に依る太鼓の騒音について問題となっている。ぴーファイブの使用を新聞記事で見ましたが、格安で使用できればうれしく思います。詳しい説明をお願いします。	ぴーファイブについては、「屋内音楽広場」というコンセプトのもと、3つのスタジオを設けた音楽施設を整備する予定です。 利用料金等の詳細は現在検討中ですが、市民の皆様が利用しやすい施設になるよう計画していきます。	—	
45	これから店舗も減少すると思われませんが、自然にやさしいナチュラルな商品、生鮮品を、自治体がからんで安く安全に提供していく必要がある。また、食糧不足、水不足の対応をお願いしたい。	買い物環境については、これまでどおり店舗の経営支援を行うとともに、食料品や日用品の入手が困難な高齢者等に対しては、新たに移動販売や訪問販売の仕組みを構築し、買い物環境を整備していきます。 また、地場産物の生産状況や朝市・販売所などの情報を収集し、朝市マップやホームページにて情報発信し、地産地消を推進していきます。	◎	施策の柱3-3-2 ・食料品や日用品の入手が困難な高齢者等に対して、移動販売や訪問販売の仕組みの構築により、買い物環境を整備していきます。
46	色々な重点施策があるが、それらの実現のためには全て「お金」の問題に尽きると思います。実現のために市民の負担が増えるのでは意味がない。人口減少問題を解決するのにも「企業誘致」を最重点に進め、税収を増やすことを最重点にすべきと考えます。	御提案いただいたとおりであり、市では現在、新東名島田金谷IC周辺地区への工業用地造成に最も力を入れています。 本市の優位性（強固な地盤、良質な地下水が豊富、交通結節点）を活かした産業を集積し、雇用増・税収増につながる企業の誘致を進めていきます。	◎	施策の柱3-2-2 ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。 ・「内陸フロンティア推進区域」において、交通アクセスの優位性を活かした新たな工業用地と周辺基盤整備を進めます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
47	人口減少対策のひとつとして、人が集まるには働く場所をつくるのが一番と思う。そこで企業誘致をすることになるが、島田市のやり方はスケールが小さい。工場を誘致するにも平らな土地がなく、大きな工場ができない。そこで、例えば大きな工業団地を岸や大津の低い山を削り、掛川のエコポリスのようなスケールの団地を造る。そのような、集まった人が他市町に行かずに島田に留まる施策を考えること。	現在、市では重点プロジェクトとして、新東名島田金谷IC周辺の約84haを産業活性化ゾーン、生活環境保全ゾーン、地区の玄関ゾーンに分け、開発を計画しています。 特に、産業活性化ゾーンには工業用地を整備していく計画であり、当地の優位性を活かした企業誘致を進めています。企業の誘致により雇用の創出、税収確保に努めていきます。	◎	施策の柱3-2-2 ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。 ・「内陸フロンティア推進区域」において、交通アクセスの優位性を活かした新たな工業用地と周辺基盤整備を進めます。
48	駅周辺のにぎわい交流で人が集まれるようにするには駐車スペースをもっと確保できていないといけません、無料で駐車できるスペースを増やして欲しいです。	駅周辺には民間の駐車場が多くあるため、無料駐車場の整備は目的外使用（無断駐車）等も懸念されることから難しいと考えます。 今後、市で開発等を行う場合においては、駐車場も考慮した検討を進めていきます。	×	
49	伊太和里の湯の炭酸泉がいつも混みあっているため、浴槽をもう少し大きくして欲しい。	炭酸泉は人気があり、いつも混みあっていることは承知していますが、現時点では改修の計画はありません。 今後、指定管理者とともに、利用者の皆様に喜んでいただけるような浴槽の構成を研究していきます。	×	
50	伊太和里の湯の炭酸風呂は狭く交代で大風呂と併用してほしい。	炭酸泉は人気があり、いつも混みあっていることは承知していますが、現時点では改修の計画はありません。 今後、指定管理者とともに、利用者の皆様に喜んでいただけるような浴槽の構成を研究していきます。	×	
51	衣料店舗が近くにないため、生活が不便である。	衣料品店が身近にあることが望ましいですが、現実的には民間の経営判断により店舗の場所が決まっているのが現状です。 市としては、移動手段であるバスなどの公共交通網の整備や店舗への支援などにより、暮らしやすいまちづくりに取り組んでいきます。	×	
52	市中心部の再開発によるまちづくりを提案したい。当地にある寺や教会、墓地等を野田へ移転し、中心街の活性化を図る。病院は現市役所に移す。金谷、家山も同様の再開発を行い、観光の目玉にする。	現在は、面的な土地区画整理による基盤整備手法が難しい時代になっています。 これからのまちづくりは、既存ストックを活用した都市の成熟化を図りながら、高齢者が安心して暮らせるまち、子育て世代に入ってきてもらえるまちにしていかなければなりません。 その一方、市が保有する公共施設の老朽化の問題も顕在化する中で、中長期的な財政計画の中で、可能性があるところはしっかりやっています。 今後はおび通りを中心とした中心市街地の状況も勘案しながら、これからの方向性について検討を重ねていきたいと考えています。	×	

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
53	子供を生み育てやすい環境をつくり、女性業務活動ができる環境をつくれば、かなりの経済効果があると思います。	女性の就業率の向上に向け、子育て世代への支援を充実させていきます。 また、子育て・介護等により外で働くことが困難な人たちに対し、クラウドソーシングをはじめ場所と時間にとらわれない新しい働き方を提案していきます。	◎	施策の柱3-1-1 ・子育て世代への支援を充実させ、受精の就業率向上につなげていきます。 ・子育て、介護等により外で働くことが困難な人たちに対し、クラウドソーシングをはじめ場所と時間にとらわれない新しい働き方を提案します。
54	人口減少は防げないものと判断するが、やはり雇用、企業誘致による働く場所づくりに力をいれるべき。	ICTの活用などにより新たな雇用を創出し、若年世代から地元での就職やUターン先として選ばれるまちづくりと地域経済の持続的な発展を目指します。 また、新東名島田金谷IC周辺地区に工業用地を造成して企業誘致を進め、島田市に暮らす人たちが働きやすい環境を整えると同時に、多種多様な雇用の場を創出します。	◎	施策の柱3-1-3 ・人手不足や生産性の伸び悩みを補うICT導入を促進し、IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）といった先端技術の研究や実証実験を行い、市内産業の活性化を推進していきます。 施策の柱3-2-2 ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。 ・「内陸フロンティア推進区域」において、交通アクセスの優位性を活かした新たな工業用地と周辺基盤整備を進めます。
55	中心市街地は都市計画を推進（都市計画税の長期間実施）したが、にぎわいのまちづくりになっていない。どうすれば結果が出るか、過去の形も反省し、将来に備え検討されたい。	現在、策定を進めています中心市街地活性化基本計画にて、地域の方の御意見を伺いながら、5年先の中心市街地のまちづくりについて検討を進め、中心市街地の活性化を目指していきます。	◎	施策の柱3-3-1 ・中心市街地の将来像を示した基本計画に基づく振興策を推進します。
56	車社会中心の考え方から人にやさしい交通規制を。	交通規制については所管となる静岡県警察本部に対し、地域の実情に応じた信号機及び横断歩道の設置を呼びかけています。 市としても通学路の点検を実施し、島田警察署、島田土木事務所とともに交差点内でのポール設置等、歩行者の安全対策について、研究、改善していきます。	◎	施策の柱4-4-4 ・安全で円滑な交通機能を確保し、車両及び歩行者の安全確保を図るため、交通安全施設（道路照明灯・道路反射鏡・道路標識・ガードレール等）の設置、維持管理を行います。 ・警察に対し、地域の実情に応じた規制による交通環境の改善を働きかけます。
57	COOL CHOICE宣言をした上で、メタンガス発電はよいことである。小水力発電は一部で既にできたが、市民に直接寄与するまでに至っていない。今後市民に還元される施策が必要である。	小水力発電は、その規模から市民に直接寄与できる発電量を確保することは難しいと考えています。 次期総合計画において、小水力発電を含めた再生可能エネルギーの調査、利活用について、さらに研究を進めていくこととしています。	◎	施策の柱4-1-1 ・市内事業者や市民とともに市内の豊富な資源を活用した再生可能エネルギーの導入に向けての調査研究を進めます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
58	ごみ焼却場における灰の処理については、自分の町で処理すべきである。処分場として、山間地に於ける、茶、みかん等の農業放棄地を利用する。	平成28年度末をもって最終処分場への搬入を終了することとなり、当面の間、外部委託による処理しますが、新処分場建設についても調査検討を継続する方針を決定したところであります。	◎	施策の柱4-1-2 ・ごみ焼却灰等の外部搬出処理と並行して、新最終処分場候補地の調査を進めます。
59	旧町内の端部では、洋服屋、お菓子屋さんなどが少なく、町なかに行くのが大変である。また、土日にバスが運休しており、ますます出かけにくくなっている。また、店の休みも同一業者が同じ日になると大変困る。	年々、バスの利用者が減少傾向にあり、民間の路線バスは運休や減便を行っているのが現状です。今後、公共交通としては、タクシーの利用や自治会やNPOが主体となった運行システムの構築を中心に整備を進めていきたいと考えています。	◎	施策の柱4-4-3 ・運行地域、予約方法、運行形態などを工夫し、公共交通としてタクシーを利用した移動手段の構築を目指します。 ・地域がワゴン車などで自主運行する取組を支援していきます。
60	地元企業（東海パルプ、矢崎等）と、新素材CNFに対する対応はあるか。ぜひ、木都島田で先端を走ってほしい。	木質パルプを原料とするセルロースナノファイバーについては、2030年には市場規模が1兆円になると経済産業省が予測しています。 こうした新素材や地域資源を活かした新たな製品の開発や研究等について、大学や研究機関、経済団体などと連携し、地元企業の取組を支援していきます。	◎	施策の柱3-1-2 ・大学、研究機関、金融機関、経済団体、民間事業者などと連携し、当市固有の資源を生かした魅力ある商品、サービスを開発していきます。
61	病院へのコミュニティバスの運行の強化をお願いします。	現在、午前中だけで民間バス、コミバス合わせて17便が島田駅または大津地区から市民病院まで運行しています。市民病院前で調査を実施したところ、バスを使って来院される患者さんは非常に少なく、大半が自家用車やタクシーでの送迎でありました。17便の中に都合のいい時間がない場合につきましては、現状のバスの時間に合わせて御利用いただきたいと思っております。	×	
62	新東名島田金谷IC周辺整備の内、産業面では大井川伏流水が大量にあることから、これを考慮する必要がある。	御提案のとおり、当地域のセールスポイントとして、地盤が強固であること、陸・海・空が近接する広域交通結節点の地であること、良質な地下水があること、が挙げられます。特に、良質な地下水が利用できる地域は静岡県内でも限定されるため、強みを活かした企業誘致を進めていきます。	◎	施策の柱3-2-2 ・豊富な水資源や農林生産物等を活かし、6次産業など次世代の成長産業を見据えた企業誘致を進めます。 ・「内陸フロンティア推進区域」において、交通アクセスの優位性を活かした新たな工業用地と周辺基盤整備を進めます。
63	自治会の補助金について、もう少し考えてもらいたい。大津、六合、初倉、金谷、川根はコミュニティ施設等を利用できるが、旧市内においての施設面の補助等が厳しすぎる。	自治会等への補助金については、全自治会等の皆様が活用しやすい制度となるよう、常に検討しているところです。で、貴重な御意見として承らせていただきます。	◎	施策の柱7-1-2 ・地域コミュニティ施設の整備、改修等を支援するほか、既存の公共施設の弾力的な利活用を進めます。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
64	蓬莱橋の橋脚を黒く塗ってはどうか。	橋脚の塗装については、経年劣化による変色に対応するために定期的な塗り替えが必要となり、膨大な維持費がかかることから、現時点では考えていません。	×	
65	川越しを実施してみたらいかがですか。	文化的観光資源としての「川越しまつり」の復活を望む声はいただいております。現在策定中の「島田宿大井川川越遺跡整備基本計画」においても史跡の利活用の観点から川越しまつり実施の可能性について検討しています。その中心となる地元の「鞆台越保存会」では、川越しの歴史と文化を次世代に伝承していく活動の一環として、今年度から地元小学生向けの「鞆台越教室」を実施しています。市としては当面その活動をサポートしながら、川越しまつり復活につき検討していく所存です。	◎	施策の柱5-1-1 ・大井川の川越遺跡は、歴史的景観のほか学術的な価値を踏まえた保存管理を進めながら整備活用につなげていきます。
66	ハイキング道路（権現原、かしわ原、丁仏参道 他）が活用される仕組みづくり、文化の-highまちづくりは住みやすい市の構築にも役立つのではないかと。	トレッキング人口が増えていることから、市では継続的にハイキングコースの整備を進めています。サイン（案内板）、ベンチ等の整備を人気がある八高山ハイキングコース、千葉山丁仏参道から順次整備をしています。	◎	施策の柱3-5-2 ・気軽に楽しむことができるハイキングコースやウォーキングコースの整備を進めます。
67	向島町公園整備について、公園+災害時の住民避難地としているが、更に箱物を建設し、例えば旧大井川町のミュージコのように大型バスの乗り入れが可能で、大井川流域の人々も容易に利用できる施設を整備してはどうか。	「緑の基本計画」に基づき、向島町公園などの公園整備を推進し、市民の憩いの場や地域交流が生まれる環境づくりや、災害時に避難地として機能する公園を目指します。公園整備にあたって、地元の意見を汲み取りながら整備を進めていきます。	◎	施策の柱6-1-3 ・「緑の基本計画」に基づき、向島町公園などの公園整備を推進し、市民の憩いの場や地域交流が生まれる環境づくりや、災害時に避難地として機能する公園を目指します。
68	住みよいまちづくりとしてインフラ整備が欠かせないため、生活道路の整備を進めるべき。	市全体の道路整備状況、国からの補助金の内示状況を見ながら、計画的に進めていきたいと考えています。	◎	施策の柱6-1-1 ・地元要望等を踏まえ、生活に身近な道路の側溝改修、舗装修繕、道路拡幅等を計画的に進めます。
69	歩道の段差をなくしてほしい。	道路（歩道）の整備につきましては、「道路構造令」に基づいて進めています。歩道の段差については、雨水の排水機能も有していることから、できるだけ全ての人が利用できるとするユニバーサルデザインの考え方と調整をとりながら、整備を進めているところです。	◎	施策の柱6-1-1 ・地元要望等を踏まえ、生活に身近な道路の側溝改修、舗装修繕、道路拡幅等を計画的に進めます。
70	子ども手当をいくら出しても、成長した子どもが島田に魅力を感じて帰ってくれるまちづくりをしていかないとダメではないのか。	御指摘のとおりであると考えています。本市が持続可能な都市であり続けるためには、都市の成熟化を図っていく必要があります。若い世代（子育て世代）が入ってくる魅力あるまちづくりを展開していくには、中長期的な財政計画に基づき、おび通りを中心とした中心市街地の状況も勘案しながら、メリハリのあるまちづくりを計画していきたいと考えています。	◎	施策の柱6-3-1（冒頭部） 静岡県が実施する都市計画基礎調査を基に、将来にわたって都市機能を維持していくため、メリハリのある都市構造の実現に向けた都市マスタープランの見直しを行い、集約型都市（コンパクトシティ）の実現を目指します。

No.	提案・意見内容	回答	対応状況 反映状況	備考（前期基本計画内反映箇所など）
71	向島町公園の整備は環境にマッチした、虫・魚のすみやすい、また、子供が遊べるスペースを考慮すべきである。	「緑の基本計画」に基づき、向島町公園などの公園整備を推進し、市民の憩いの場や地域交流が生まれる環境づくりや、災害時に避難地として機能する公園を目指します。また、公園整備にあたりましては、地元の意見を汲み取りながら整備を進めていきます。	◎	施策の柱6-1-3 ・「緑の基本計画」に基づき、向島町公園などの公園整備を推進し、市民の憩いの場や地域交流が生まれる環境づくりや、災害時に避難地として機能する公園を目指します。
72	人口減少、超高齢社会に伴う市財政が健全であるよう、また、将来の市民に負担が及ばないよう、市政の運営をお願いします。	選択と集中の理念のもと、メリハリのある行政経営を行っています。 財政健全化指標を見ても健全性を確保しています。 平成28年度の決算では、市債残高を15億円削減、基金を5億円積み立てし、これから実施する島田の将来を描くうえで必要な事業（新病院建設事業や新東名島田金谷IC周辺事業）に備えてきました。	◎	施策の柱7-2-1 ・中期財政計画に基づく安定的な財政運営を図るため、予算編成に際し、社会経済情勢を反映した的確な歳入の見積りに努めるとともに、徹底した歳出の効率化を進めます。
73	予定している事業はよくわかったが、まちを実際に動かすリーダーづくりやプレイヤーの発掘など、人材育成（主に若手）のための事業が見えないが、それで人口減少を乗り切れることはできるのか。ハード事業ばかりの計画は古いのでは。	協働のまちづくりを推進するため、市民が主体的に取り組む事業で公益性を有するものに対して交付金を交付する「まちづくり支援事業交付金」の制度を拡充したほか、まちづくりを牽引する人材を育成するための「ファシリテーター育成養成講座」を開催したほか「ゆめ・みらい百人会議」の各分科会活動を支援しています。	◎	施策の柱7-1-1 ・市民協働のまちづくりを推進するため、研修会を開催し、ファシリテーション能力の習得により協働のまちづくりを担う人材を育成します。 ・まちづくり支援事業交付金により、団体が主体的に取り組む、公益性を有する事業を支援します。

※総合計画前期基本計画本文については、現在熟度を高める作業を行っているため、言い回しや表現方法など、変更される可能性があります。